

教科	科目	学年	単位数
美術	美術	1年	1
使用教科書		副教材	
美術1（光村図書）		美術資料 静岡 Re+（秀学社）	

1. 学習目標

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- ・美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2. 評価の観点と方法

- ・以下の観点をもとに、提出物（作品、ワークシート等）、授業態度を総合して評価する。

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、造形的に表している。 	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

3. 学習内容 【下表参照】

4. その他[科目の特徴や学習の注意点など]

- ・授業で出題された課題については、技術的な巧拙だけでなく、発想、構想や対話をもとに創意工夫しているか、問題に気付き解決しようと努めているか、などについて評価する。また、授業態度については、自身の制作の進捗状況を常に把握し、他人に迷惑をかけず制作しているか等を評価する。
- ・美術では多くの道具を使用する。中でも彫刻刀やカッターなど、使用方法を誤れば重大な事故につながるものもある。指示通り安全に使用し、次に使う人のことを考えて丁寧に扱う。
- ・美術室は公共の空間であり、様々なクラスが使用するため、絵の具等を使用した後の片づけや清掃は、できる限り皆で協力しながら行う。

	月	単元	授業内容	学習内容及びポイント
一 学 期	4	美術って何だろう？	小学校での図工の授業を振り返る。 教科書の内容を大まかにみて、学習内容の概要を知る。	図工と美術の違いを知る。美術の概要を知り、これから学習する内容と学び方を理解する。
	5	見つめ、感じ取り、描く	生徒作品を鑑賞し、それぞれについて発表しあいお互いの意見を聞く。 自分の持ち物を鉛筆と色鉛筆を用いてスケッチする。	いろんな意見を聞き、描き方の工夫を感じ取ることで「見る」と「観る」の違いについて学ぶ。 普段使っている持ち物を作品として描くことで、造形的な視点で観察し、新しい視点を持つ。
	6	どれで描く？	鉛筆、色鉛筆など様々な画材、及びこれから	それぞれの画才の特性、作品制作への生かし方を理解する。

		どれで塗る？	使うアクリルガッシュの特性を理解する。	
		色を見つける	アクリルガッシュを用い、数色を混色、重色してさまざまな色を作る。	人の肌の色を手掛かりに、自然界の持つ色の豊かさを感じ取る。またそれを絵の具で再現することで混色、重色の表現の仕方を学ぶ。
	7	人のしぐさを捉える	教科書の作品を鑑賞し、描かれている人のしぐさから感じられることを話し合う。	作品のポーズなど造形的視点から感じとれること、作者の意図などを理解する。
	8	「中学一年夏の私の手」を描く	手の構造を理解し、鉛筆でスケッチする。 アクリルガッシュを用い、水彩タッチで着色する。	自分の手をよく観察し、造形的な視点で捉えそれを表現する。テーマについての自分の考えを具体的にし、それを色や塗り方で創意工夫する。
二期	9	アクリルガッシュを使いこなす	アクリルガッシュの本来の使い方、面を均一に塗る方法を学ぶ。	アクリルガッシュの特性や使い方をしっかりと理解し、今後の制作に生かすようにする。
		文字をデザインする	明朝体、ゴシック体の基本を学ぶ。 「永」の字をレタリングし彩色する。	なぜレタリングが必要なのかを理解し、文字の特徴を損なうことのないように彩色する。
	10	文字で楽しく伝える	小学校で学ぶ約 1000 文字の漢字中から一文字を選び、小学生が漢字の内容を楽しく学習することができるような絵文字を考える。 同級生の完成作品を鑑賞し、感じ取ったことを発表する。	同級生と漢字が被らないように選び、漢字の正しい意味と読みを調べる。 調べたことをもとに、文字に組み合わせるものを考え、文字の形と意味に合うようにデザインする。 アイデアスケッチは何通りか考える。 下描きでは一度しっかりとレタリングをし、そのうえに組み合わせるものを描き加える。 鑑賞会では同級生の発想や工夫を感じ取り、お互いに意見交換する。
	12	アートカードでカレンダー作り	静岡県立美術館のアートカードを用いてゲームをする。 カードの中から四季に合うものをひとつずつ選び、カレンダーを作る。	静岡県立美術館の収蔵品 48 点をカードにしたアートカードは、様々なゲームが考えられている。風景、人物、抽象、彫刻、ミニマルアート等様々な作品のものが、ゲームをすることで美術作品に親しむ機会になる。
三期	1	生活をいろいろ文様	教科書掲載の 20 種類の文様を鑑賞し、その成り立ちと多様性を知る。	文様の形、色、構成、連続性等それぞれに着目することで、文様のデザイン性を感じ取る。 文様には意味があり、願いが込められていることを知ることで、生活における文様の役割について考える。
	1	オリジナル文様	現在の自分の願い、抱負を具体的な何かに例えて形にする。 考えた単位形をゴム板に写し、ゴム板を彫って版を作る。 アクリルガッシュを凸面に塗り、版を繰り返し押し出すことで文様を作る。 生成りのてぬぐいに繰り返し版を押し、文様を配置する。 完成作品をもとに鑑賞会をする。	現在の自分を見つめて、願いや抱負を具体的に決める。 文様にする、版面にすることを考慮し、形の省略や単純化、連続性を持たせること、色の制限等を理解して制作する。 てぬぐいの面にどのように文様を配置するか、使うときのことを考えてデザインする。 版を押し出す順番によって見え方が変わること理解し、それを考慮して作業を進める。
	2	3		